

Stop 地球温暖化! 私達にできる事…(後編)

(これから新たな脅威が?)

蚊が媒介するウイルス性疾患のチクングニア熱に世界が警戒を強めている。今夏中国では7,000人以上の感染が報告された。今迄は主にアフリカや南アジアが中心とされてきたが、温暖化により、南米を含め感染地域が広がっています。症状は突然の高熱から始まり、激しい関接痛がある事も特徴の1つです。



問題は日本でも近年流行のリスクが高まっていることにあります。アジア地域に分布するヒトスジシマカという別の蚊にも寄生し感染地域が広がっており、この蚊の定着条件は、年間平均気温が11°C以上とされており、温暖化が進んで生息域は青森県まで広がってきております。チクングニア熱の流行を防ぐ為にも地球温暖化の解決に向けた動きが必要です。

そして日本の海が枯れていいく…

コンブ生産量 約33,000t→約8,500t(1989年→2024年)

マコンブ生産量 約4,800t→約340t (1992年→2023年)

アマモ場面積 約70%減(1960年→1990年)

藻場面積 約320kha→約150kha(1990年→2022年)

CO2吸収・貯留量 約600ktCO2→約350kICO2 日本近海(1990年→2022年)

磯焼けが進む日本の海で、今この瞬間に藻場が消失しています。温暖化などが原因で日本では藻場の消失に歯止めがかかりません。

それにより藻場を住みかとする小魚が減り中・大型魚が寄りつけず、漁獲量が大きく落ち込んだり海のCO2吸収量が低下するなど暮らしに大きなダメージを与えています。



しかし今世界は……温暖化対策しほむ機運

温暖化ガス排出に向けた世界の動きが鈍くなっています。

国連の国際枠組みが義務づける新たな削減目標は、8割以上の国・地域が未提出のままです。トランプ米政権の発足で脱炭素化への機運がしほんでいます。このままでは今度ブラジルで開幕する国連気候変動枠組み条約第30回締約国会議(COP30)での議論も空転しかねません。

パリ協定の加盟国は5年ごとに排出削減目標を策定し提出する事が義務づけられており、日本は35年度時点で13年比60%、40年度時点で73%の削減を目指す目標を定めています。現在時点で35年度の削減目標を提出したのは日本・英国・カナダなど28ヶ国にとどまっており、8割以上がまだ提出されていない。

トランプ政権は発足初日にパリ協定からの離脱を決め脱炭素化に逆行する政策を重ねています。

ネットゼロバンキングアライアンスの行先は?

これは2050年迄に銀行の融資、投資ポートフォリオの温室効果ガス排出量をネットゼロにする事を目指す2021年に設立された国際的な金融機関の組織で、パリ協定の目標と整合する気候対策を推進することを目的としていました。

当初、米国・日本・EUの主だった金融機関がこぞって参加しておりましたが、米国共和党を中心とする反ESG運動により、ネットゼロ・バンキング・アライアンスに加盟する事が政治的リスクと見なされる様になりました。

米国ではメガバンク (JPモルガン・チース・バンクオブアメリカ等)のほとんど、そして日本も(三菱UFJ・三井住友・野村ホールディングス等)大手のほとんどが脱退し、欧州の金融機関中心の組織となっています。

この様に政治の変化により、根本的基本政策が変わっていくのが現実であり、私達も確固なる信念が問われています。

ぎふの木ネット通信

2025.12



ぎふの木ネット協議会



CO2の地下貯留→千葉沖へ

経産省は千葉県沖にCO2の地下貯留に乗り出します。京葉工業地帯からの排出の受け皿にする予定で、2050年温暖ガス排出を実質ゼロとする日本の目標に欠かせないとしています。先行して実証事業が進む北海道苫小牧沖に次いで2ヶ所目となる最大500万tの貯留を目指しているが、これは200万世帯分の年間排出量に相当します。しかし現在コスト的にはCCS(二酸化炭素回収貯留)にかかる費用を参考にすると13万円から20万円/t位かかると考えられます。軽く1,000億規模となってしまいます。



まとめ…………私なりの提言



現在は一旦脱炭素化に向け世界がまとまりかけた方 向性が、トランプ政権の誕生により政策や価値感の混乱が生じています。

米国・EU・中国・インド等それぞれの国の事情で大きな差があります。しかしこのままでは世界が決して望ましい方向に向かっていっているわけではない事は、まちがいありません。自分達だけ良ければ、今さえ良ければ、そんなポピュリズム的な流れに乗って将来を担う人々に大きな負債を残していくのかという思いが募ります。

そこで私なりの提言

- 伐って、使って、植えて、育てるこのサイクルの高速回転→ CO2の吸収力の再成
- 住宅だけでなくあらゆる空間の木質化→ CO2の固定化(CCSよりはるかに安上がり)
- 再成可能エネルギー利用でエネルギー消費ゼロに向けた住まいの建設促進→排出エネルギーの削減、健康寿命の伸長
- 断熱リフォームの推進→熱中症予防や排出エネルギーの削減
- V2Hの促進→災害時も含めた対策
- 効率的な物流対策→配送時のCO2を削減

できる事は山ほどあります。

皆様と共にパワフルでスピーディーな実行に向けて努力致します。是非ご一緒に!!

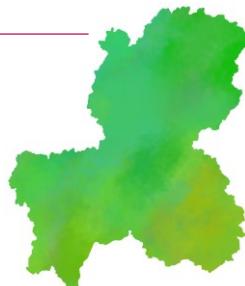
(ぎふの木ネットメルマガ No.88 より)

岐阜の未来は？(前編)

(岐阜人の思い)

岐阜に生まれ、岐阜で育ち、岐阜に住み、現在も岐阜で働いている私にとって岐阜の現在の課題や今後については、大変気になるところです。岐阜は本当に良い所であると、つくづく思っている私は、東京一点集中の現状についてそれぞれの価値感の違いはともかく、なぜ東京がそんなに良いのか、あまり分かりません。

確かに大企業のオフィスが集中し、情報が集まり易い点では群を抜いていると思いますが、実際住みたいかと言 われると、私は岐阜の方がはるかに上で、これ以上の所はないかなと思っています。



Why岐阜？

- ① まず日本のまん中でどこに行くのも便利(最近羽島駅の駐車場の混雑が気になりますが)
- ② マイルドな気候で直近では大きな災害(台風、地震等)もないが、冬伊吹おろしは多少こたえます。
- ③ 川がきれい、水がおいしい、食材も豊富(長良川流域の川は日本一の清流で飛騨牛は最高)又岐阜の鮎は日本一。
- ④ 金華山を中心とした歴史背景はロマンあふれるもの。

信長や道三に思いをはせながら、長良川の清流を背景とした満月に照らされる金華山と岐阜城は最高です。

今だに本丸御殿跡から発掘される、金箔瓦や調度品そして巨石群。宣教師ルイス・フロイスが記した書簡には4階建ての御殿や豪華な庭園の記述が残っています。又武田勝頼を破った長篠の戦いでは岐阜城から軍を出している様です。

信長の野望や濃姫の思い……まさしく岐阜は日本統一の拠点であった訳です。又春から初夏にかけ金華山に多いツブライジが金色に変わり、まさしく山全体が黄金色になる景観は金華山の名前の由来とも言われています。



⑤ コンパクトシティで渋滞が少ない。喫茶店、レストランも多い

岐阜市は40万人ほどの人口で、コンパクトで大変住み易く他県に行ってビックリするのは、喫茶店やレストランが少ない事。他県に行って岐阜の良さを実感。

⑥ 美濃と飛騨の文化や観光の多様性

最近ではインバウンドの関係で白川村や小京都と呼ばれる高山人気が高くオーバーツーリズム傾向もあります。又乗鞍岳や御岳山、そして穂高など北アルプスの名峰も長野との県境に位置し白山なども石川との県境にあり、山の景観も最高。

2年ほど前に行った、白川村近の秘境の様を白水湖は1年のうち1~2ヶ月しか行く事



のできない湖で、白山連峰に併むコバルトブルーの神秘的な湖！まさしくカナディアンロッキー。



⑦ 何といってもゴルフ場が近い、多い

我家から30分圏内に多くのゴルフ場があり、1時間足を伸ばせば、避暑できるゴルフ場や林間コース等、名門コースも含め多彩なコースがいっぱいあります。

東京や大阪では考えられません。(大企業の社員が、中部エリアから他地区へ転勤する場合ほとんどの方が、このエリアへの愛着を示されます。)書き出せばキリがありません。

次に残念な事、気になる事

① 何といっても中心市街地の過疎化

早い話が、柳ヶ瀬エリアの凋落です。高島屋が撤退して百貨店のない県の4番目に仲間入りしてしまいました。

(他に山形、島根、徳島)撤退後1年ほど経過しましたが、かなり困っています。



まず、服を買うのに名古屋迄？

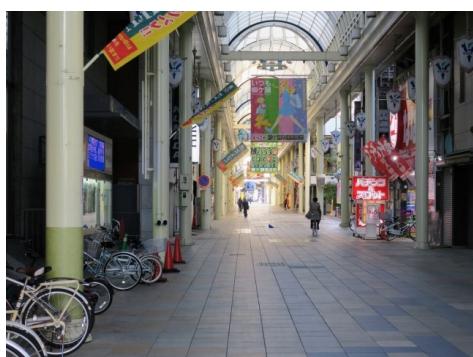
私自身、既製品が全く合わない体型で(手足が短く首や胴回りが太く)ワイシャツに到るまでオーダーかイージーオーダーが必要な、大変コストのかかる現状で、ダイエットすればかなりの部分解決できそうですが、それもままならない最近です。)

中学や高校時代を思いおこせば、岐阜にいくつデパートがあったのか(まず新岐阜、山勝…後のパルコ、ステーションデパート…岐阜駅の2Fがデパート、そして丸物…後の近鉄、更にさかのぼると丸宮というデパートもその後センサー…後にドンキホーテ)

② 柳ヶ瀬の変化…郊外の巨大モール

現在、飲食の中心は岐阜駅近くの若宮エリアに中心が移動しました。週末の混雑はかつての柳ヶ瀬を彷彿させる感じもあります。ただ感じるのは若い人向けの店が多く、かつての柳ヶ瀬(東、西柳ヶ瀬)のネオン街とは全く感じが違い、サラリーマンは電車の時間に合わせて2次会等は減っている様です。

又かつては柳ヶ瀬界隈に自由書房と大衆書房という2大本屋があり、学校帰りの学生やまた待ち合わせの場所としても利用されていました。



又私が、中学から高校時代にかけて(50~60年前の古い話?)今では

考えられない映画館の数(衆楽館、自由劇場、東映、東宝、大映、日本劇場 新岐阜から柳ヶ瀬にかけ)15ヶ所位は、あった様な気がします。

戦後から復興期にかけて娯楽の少ない時代とは言え、映画館では立ち見も珍しくなく、丸物(後の近鉄)前の柳ヶ瀬通りは肩がぶつかり合う位の人の思い出が残っています。

現在は柳ヶ瀬エリアの地価は1/100に低下しており江崎新知事もデパートをもう一度岐阜に戻したいとおっしゃっておられましたが…

対照的に郊外にはモレラやイオンの様に

大駐車場を有した巨大モールが誕生してワンストップで映画等アミューズメントから買い物迄できる施設に人が集っています。



③ 金華山、楽市楽座、川原町

岐阜城下町は戦国時代、斎藤道三により整備されました。今レトロ感あふれ観光客も多く訪れる川原町あたりは当初無人の河川敷であり、町家が連なるようになつたのは江戸中期と言われています。



【楽市楽座は信長が、導入した経済対策】

信長は軍事力の増強には経済の発展が不可欠と考えており、その為多くの商人が領内で商売できる様にしました。楽市の「楽」とは自由を意味し、城下のどこで商売をしても良いという意味。当時は城下で商売する場合、商売を行っても良いエリアが決まっており、その場所で定期的な市がひらかれていました。四日市や八日市などの地名は毎月4日や8日に市が開かれた場所の残りです。



楽市では、市(マーケット)を自由にするという意味で城下のどこで商売してもOK。行商人が腰を下ろした場所で店をひらく事も可能となり、商売がしやすいので多くの商人がやって来る様になりました。又楽座の「座」とは、商売エリアを利用する為の組合のことに、それまでは座の許可を得て城下で商売するのが当たり前で、座に所属しなければ商売はできませんでした。商人達は商売の許可をもらう見返りとして、座に高額なロイヤリティーを支払っていました。これまで座に支払う高い上納金に悩まされていた商人たちも純粋な利益を得る事ができる様になり、組合に加盟する煩わしさもなくなり、多くの商人が岐阜に集まりました。

まさしく今でいう【経済特区】を岐阜に創った大英断と言えます。岐阜の再成のヒントになりそうですね。

次回はより具体的に…

☆ぎふの木ネットの目的は、ぎふの木を利用してすべての人が希望を持ち活き活きと活動できる地方の実現です。

(ぎふの木ネットメルマガ No.89より)

ぎふの木ネット協議会 年末フォーラムを開催いたしました

令和7年12月4日、今年最後となる「ぎふの木ネット協議会 年末フォーラム」を開催いたしました。

当日は多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。



今回は、東京大学大学院 准教授・前 真之 先生をお招きし、ご講演いただきました。

また、フォーラム後には交流会も行い、参加者の皆様同士で活発な意見交換が行われました。



来年の開催日時は現在未定ではございますが、決まり次第あらためてご案内申し上げます。

次回も皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会員の方への情報を募集します

会員の皆様へのご報告として、ぎふの木ネット通信を発行し(年6回程度)、

協議会の活動報告などをお伝えしていきます。

今後は会員の皆様同士の情報共有を図るために、皆様からの貴重な情報を頂き、
その情報を会員の皆様へ周知したいと考えております。

展示会や近況など、お知らせしたい内容がありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。

(チラシなどの印刷物をご提供いただければ、ぎふの木ネット通信の中に同封して会員の皆様にお送りします。)



ぎふの木ネット協議会



協議会事務局:岐阜県羽島郡岐南町みやまち1-3

ヤマガタヤ産業(株)本社内 TEL 058-271-3111